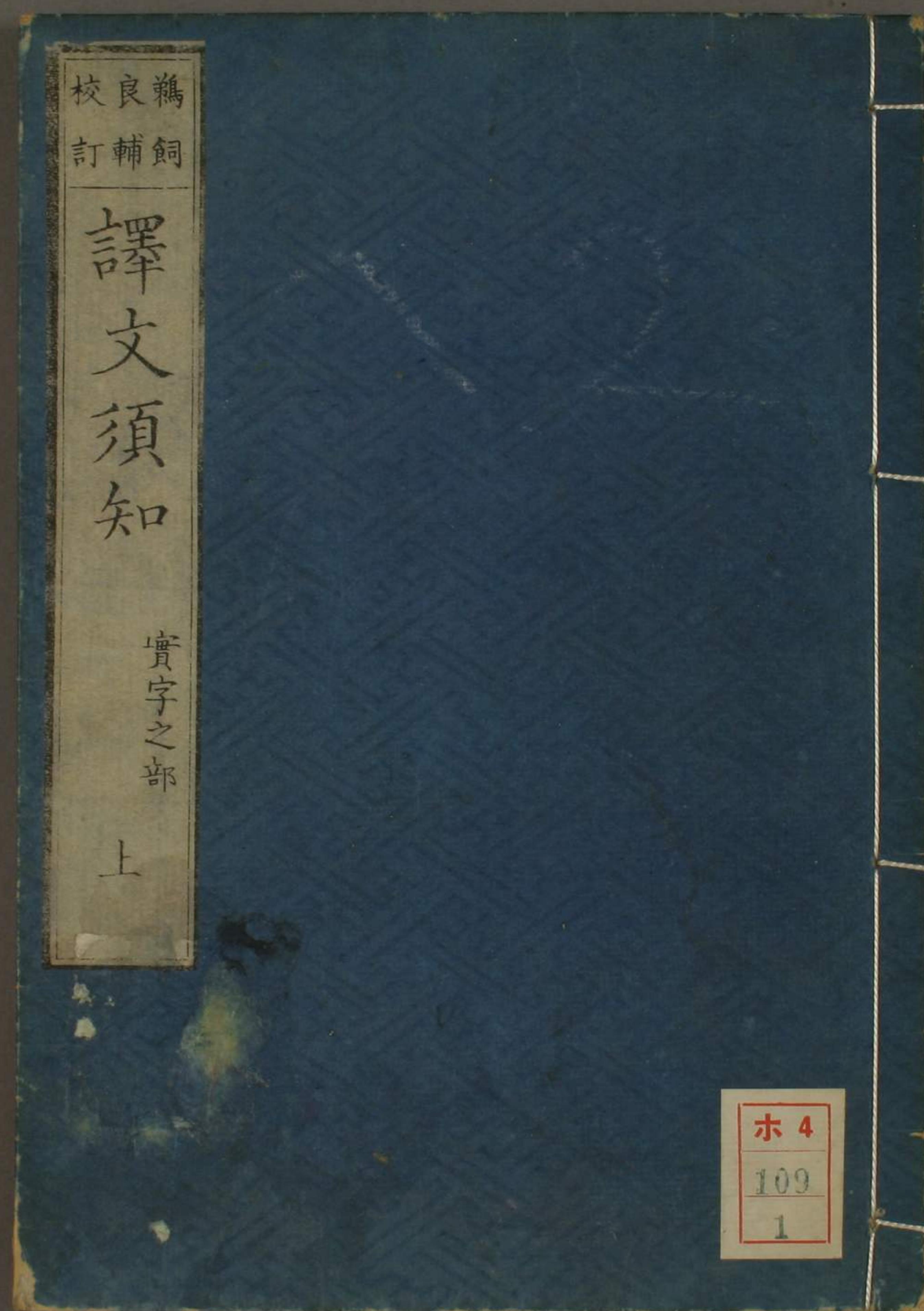


0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 JAPAN Tama

木4
109
1



明治四正月

官許

松本愚山解説
鶴銅良輔校訂

寶鏡之部

校訂 譯文須知

京都書林

六書房合梓

金三拾七錢五厘

黒山松平先生所著者
譯文須知は承既已刊行而
久キ好美也其二字則未也乞予
寔字解二冊子書梓黑情
之請余訂之予志在より禁

加4
門號
卷109



男加考行以核焉亦所以答
先生至大幹也

安政庚申三月

鶴飼汝祥識



譯文須知實字部目錄

卷一

自伊至保

卷二

自邊至力

卷三

自ヨ至ノ

卷四

自ヤ至ス

譯文須知實字言目金

卷四	自序
卷三	自序
卷二	自序
卷一	自序

譯文須知卷之一

實字部

愚山松本先生解詁

門人 近江 翠飼良輔校訂

イ類

○イヘ

家 オノク別ニ一構ヲ設ケルトナリ左傳男有室女有家
是ナリ故ニ嫁ノ宇女ニ从ヒ家ニ从フ夫婦別ニ一構
ヲ設ルナリ

屋 人ノ住居スル所ヲサシテ云六韜愛其人而及屋上之
鳥是ナリ

宅 人ノ落ツク所ニスル心持ナリ孟子仁者人之安宅也
是ナリスヘテモニ从フ字皆安ンスル義ナリ茶托ナ

トヲ以テ知ヘシ

舍 引コミテ休息スルノユヘ部屋ノヲニ用エ釋名舍於中舍息也是ナリ

厦 大ナル建物ヲ云外ノイヘト云字ハ格別ナリ史記大厦之壞非一本之所支是ナリ

居 人ノ住ナレテ居ル所ナリ孟子居移氣養移體云云况居天下之廣居者乎云々此無他居相似也是ナリ

室 居間ノヲナリ易經後世聖人易之以宮一戸軒ノツクノナリ正字通民家聯比謂之編一

房

カタハキニアル部屋ナリ詩經右招我由一

○イホリ

庵 上ヲウチオソヒテ外ヲ防ク心持ナリ通典結艸木萬

廬 廬皆曰庵是ナリ文選周廬千列註直シハラクノ間ノ宿ニスルノナリ周易廬卦直宿曰廬是ナリ謙遜ノ詞ナリ弊一云ヲ以テシルヘシ

○イチ

市 商賈ノタカニ貨物ヲ交易スル場所ナリ世說臣門如市臣心如水是ナリ

堵 人多ク集テ垣ノ如キヲ云禮記孔子觀射于矍相之圃

觀者如堵牆タトヘハ此方ノ詞ニ歌垣ナト、云々如

○トタ人ノヨリ集リタト垣ニタト工タルノニテ元來市

合ニニハ非ス心得タカフヘカラス

肆 ナテヘ立テ人ニホシイマニ見セルノナリ論語百

肆

工居肆以成其事是ナリ

廬 商人ノ住居スル所ヲ云禮記市廬而不稅註廬市物邸
舍ト是ナリ故ニ住居スル所ノ租錢ヲ取モ廬ト云

○イケ

池 地形ノ卑下ニソ自然ト水ノ流レコムヲ云詩經東門
之池可以漚麻是ナリ硯ノ海ヲ硯池ト云コフハイア

リテクホキ所ライフ

陂 マワリニ土手ヲツキワサト水ヲ畜ルナリ禮記注畜
水曰陂是ナリ其廻リノツヽミモ亦陂ト云ナリ

沼 入リクミテ流レコムヲ云ナリ詩經于沼于沚是ナリ

蘋ハ水ノ漂フ處ニアル故ニ沼ニ沚ニトハ云ヘルナリ

湫 水ハキノアシクテ水ノタマリタルナリ韵府安定朝

那有湫泉清徹不客汙濁是ナリ

泖 水ノヌマナリ流レサルヲ云字典江左人目水之渟溠
不湍者為泖是ナリ後世詩人多ク湖ノ字ニ換用

瀦 力子テ用意ニ水ヲタメル心持ナリ周禮稻人以瀦畜

水是ナリ家猪ハ貯オクモノ故ニ水ニ从ヒ猪ニ从フナリ

○イシスエ

礎 地形ノユカミナキ様ニ石ラスヘルヲ云正字通柱下
石一與礎異名同實其為楹石則一無ニ義

礎 上ヘアラハレ出タル所ヲ指テ云ナリ正字通俗呼礎
曰礎是ナリ

礎 下シキニ用ユルヲ云文選雕楹玉礎繡栱雲楣是ナ
リスヘテカサリテ礎ノ上ニテ柱ニカヒタルヲ云ナリ

質 石ヲ以テモノ、上臺ニスルヲ云國策孰與自伏斧質
妻子為戮乎コレナリ石スエニハ非ス斧ニテ物ヲキ
ル臺ナリ

○イサヨ

砂 石ノ細ニ碎テサラクトスルヲ云阿房宮賦用之如泥
沙是ナリ

磧 淺キ川ノ水底ニ砂石アルナリ文選下磧歷之坂又古
ニハ瀨ノ字ヲ用ヒスシテ磧ノ字ヲ用ヒシナリ

漠 果モナク取放シタル砂原ナリ韵府立威沙漠是ナリ

○イシ

石 土中ニアル精氣ノ凝結シテ質ヲナスク云易經介于
石不終日是ナリ天ニテ星地ニテ石人ニテ骨イツレ

モ精氣ナリ

礫

キラツク心持ノ少キ石ナリ文選爛若磧礫注石細者
曰一

碌

コロクト轉ヲサシテ云老子不欲碌々如玉是ナリ畢
竟小石ノトユヘニコロクト用ニ立サルモノヲ碌々
ト云

硗

石地ニテヤセタルヲ云孟子地有肥硗雨露之養不同
是ナリ又硗埆トモ用ニ同義ナリ

砲

石ヲ拋テ飛セルナリ拋ト音通ス正字礮ニ作ル
○イハ

巖 角タチテ取付難キ心持ナリ左傳一邑也號叔死焉
是ナリ巖邑ハ險岨ナル場所ノ要害ヲ云ナリ

磐 平タクシテ地場ニナルヲ云易經鴻漸于_二是ナリ盤

ト通ス荀子國安於_一石斯_{ヨリ}ハリノヨキヲ云

○イタヽキ

巔 山ノ見コミノ高キ所ヲ云詩經采苓采苓首陽之_一是

ナリ

峯 急ニ高シテ危イホトノ處ナリ詩經山冢峯崩是ナリ

山イトンホウサキ或ハ急ニ高ヒ處ヨリ崩レカヽル

ヲ云

椒 石ノスクナク土多キヲ云文選菊散芳于山椒山菊ノ

自然ト生スルヲハ必石少ク土多キ處ナリ

岨 石山ニメイタヽキニ土アルヲ云詩經陟彼一矣是ナ

リ

岵

艸木ノハヘタルイタヽキナリ全上陟彼一兮

冢

山ノトンボフサキノヲ詩經見上

屺

ハゲ山ノイタヽキナリ爾雅山無艸木曰屺

巘

外ヨリアラハレタルヲ云文選坂抵截辟而成一是也

○イシハシ

梁

石ニテ水ヲタチ切リタルヲ詩經在彼淇梁是ナリ梁

ハモト水橋ト注シ舟橋ノヲナルヲ轉用セルト見工

矼

石ヲヨセ合セテ川ヲ飛コレテ往來ヲ通スルナリ歐

詩六月飛雪洒石一是ナリ又磧庄云爾雅石一謂之磧

○イハホ

窟

地ヨリクボミテ深キ所ヲ云孟子下者為營一左傳為

一室而夜飲酒擊鐘焉ト是ナリ

○イシダタミ

甕 シキ瓦ノ如ク真口クニ並ルナリ易經井一无咎是ナリ井戸ノヨイ瓦ニテ修レハサシ水ノウレヘナシト云心ナリ

○イケス

簾 魚ヲタクハエオク様ニスル廣韻一ハ池水中編竹籬養魚ソナ字ノ簾ニ以フハ魚ノ外エ出ザル様ニスレバナリ

○イツミ

泉 一條トナリニハカニ出ル水ヲ云爾雅水源曰易經井冽寒一食是ナリ飛一湧一ナド皆一條ツ、ノ水ナリ

○イセキ

堰 物ヲ以テ水ヲセキトメルナリ字典一壅水也

埭 舟ヲ引トバムル所ナリ晉書謝玄堰呂梁通漕

○イソ

磯 水中ニ石ヲオキテ入ノ立様ニスル字典石激水也

○イニシヘ

古 嵩月ノ夕チタルナリ書經曰若瞽一帝堯古ハ今ニ對シ往ハ來ルニ對ス故ニ昨日往日ト云ヘ庄古トハ云

難ヲ以テ例推スベシ

往 アリテスキタルヲ云易經夫易彰徃而知來同上革去故也

○イマ

今 目前ノ所ヲサシテ云論語一也純儉是ナリ現在ヲサシテ云詞ナルト知ルヘシ

○イカツチ

雷 力ミナリノ音聲ヲサシテ云詩經殷其一在南山之陽是ナリ遠方ヨリソノ鳴ル方角ヲサスナリ

霆 カミナリノ落カ、ルナリ淮南子疾雷不及掩耳疾一不又掩目落カ、ルア見ルユヘニ掩目ト云聲ヲ聞テ耳ヲ掩ト別ナリ

霆 其義未考

震 落ルホドノツヨキ雷ナリ左傳疏雷之甚者為震是ナリ

○イナビカリ

電 天地間ノ真火ノ氣ノモレテ見ルナリ禮記仲春雷乃發聲乃電是ナリ雷鳴ニヨリテ火氣モモレテ見ルナリ

リ

霹 雷勢ノ甚急ニメ人ノ怖ルホトノアリ尔雅疾雷為霆寬注雷之急擊者謂霹靂是ナリ

靂 義上ニ同シ

○イロコ

鱗 魚ノ皮ノキラクト見ルモノヲ云禮記其蟲一是ナリ

介 ヨノ部ニ見ユ

甲 上ニ同レ

○イモト

妹 兄姉ヨリ次ナルモノナリ詩經衛莊公聚于齊東宮得

臣之一曰莊姜是ナリ一ハ女ニメ婦小婦ナリ
婦 本妻ニツキ從フ妹分ノモノヲ云易經帝乙歸妹不如
其婦之袂良是ナリツキ添ノ袂却テヨシト云心ナリ

○イトマ

間 手スキノアル心持ナリ大學小人一居為不善論語病
一 是ナリシハラクニテモヒマナル時ナリ

暇 マルテ隙ノアルト詩經迨我一矣飲此滑矣是ナリ格
別ノヒヤナル時ナリトヲ給ルナトヲ以テシルヘシ
燕 サシアタリテ用ナキヲ云論語子之ト居申申如也燕

ノ字宴ト通用ス燕ノ鳥人家ニ巣ヲシテ安居スル儀
ヲ假レリ

○イキ

氣 精神ヨリ流注シテ出ルモノヲ云論語屏氣似不息者
是ナリ上ノ氣ハ内ヨリ出ル自然ナルモノヲ云下ノ
息ハ呼吸ヲカハヌ様ニスルヲ云ワサト息ツカイ
ヲスルナリ

息 呼吸ノ通フヲ云ナリ見上

○イトケナン

幼 二十歳マテノ通称ニテ成長ノ間ヲサスナリ禮記人
生二十曰ト學是ナリ

稚 マタ未熟ナル心持ナリ谷梁驪姬有二子長曰奚齊一
日悼子是ナリ年ノユカサル方ト云トナリ
孺 父母ナトヲシトフ子供ヲ云孟子乍見一子之將入井
是ナリ需ハモノヲマチモトムルトナリ子ニ从ヒ需

説文彙考實卷一

ニ从フ子ノ父母ヲシタイモトムルナリ

嬰 手ニカ、ル子供ヲ云老子專氣致柔能如嬰兒乎

孩 入ヲ見テ笑フ子供ヲ云孟子孩提之童

冲 何ノ心ツキモナキヲ云書經吾幼一人

○イハリ

尿 人ノ下部ヨリ出ル水ナリ説文一、人小便也是ナリ戸

ニ从フ戸ハ人ナリ水ニ从フ此小便ノ本字ナリ

溺 上ヨリシタ、リカケルヲ云史記賓客飲者醉便溺睢

是ナリ小便ヲシカケルトナリ

私 糜ハシキス忌タル隱語ナリ俗ニキ洗ト云カ如シ左

傳師慧過宋朝將一焉是ナリ自魏太康五年以來

溲 小便ヲスル音ヲ云後漢書遺矢ト便語故廬山不良音

便 クノ部ニ見ユ

○イタタキ

顱 マトカナル形ヲサシテ云莊子園一方趾觸體ト云頭

顱ノ轉音ニテカシラノ骨ヲ云暴骨ノミニ非ス

頃 スツトノサキナリ易經過涉滅一

○イサライ

脣 自體ノ下ニスハリテ居ツク所ヲ云ナリ易經一困于

株木カフキニヨリテスワル所ノ自由ナラサルナリ

○イホ

疣 肌肉ノ小サノカタマリ結ルヲ云莊子附贅懸一出乎

形哉而移於性コレコフハ身ニヒツ付イホハ宙ニフ

ラクシタルヲ云

炮

俗ニ云ニキヒナリ正字通凡手足脣肘暴起如水泡者謂之一是ナリスヘテ上ヘフクレタルモノハ字包ニ从フ

○イクサ

師

スヘテ大勢ノ人衆ノトナリ回テ軍勢ノコト、斯詩經王言出一、人衆ヲクリ出ストナリ

軍

ソナヘヲ立テ軍ノ出立スルヲ云論語一旅之事未之學也是ナリコレ人數ノトニハ非スソナヘヲ立ルトヲ云

○イカタ

型

土ノ井カタナリ字典凡鑄或以土曰一

整

アラ形ヲウツスヲ云廣韵土一、未燒壇坯也

範

竹ハカタたり易經一圍天地之化而不過

摸

細カニ形ヲウツスナリ文選陳三皇之規一

鎔

鑄形ヘナカシコムナリ史記姦或盜摩錢裏取一

鑄

前集ニ見ユ

○イカタ

筏

水上ニ浮タル木ナリ論語衆一浮于海孚ノ字モト物曰桴

桴

水上ニ浮タル木ナリ論語衆一浮于海孚ノ字モト物人虛心ナル義ナリ虛ナルモノヨク水ニ浮フヲ云

方

トモカウモ水マカセニスルヲ云詩經就其深矣一之舟之トアルイカタモ舟モソノ流ニ从ノテ逆フト不能喻也

搓 輕目ナルモノ、心持ナリ。唐詩不羨乘^{アラマツ}一雲漢邊又ウキ、凡訓ヒリコレ輕目ナルモノヨク水ニ浮ヘハナ

リ査ノ字同

○イシフミ

碑 モノヲヒツカケテ下ヘサケルモノヲ云儀禮當^レ揖ユレモトハ牲ヲカケルモノニテ墓所ニモ棺ヲオロスタメニ設タルナリ。

碣 シルシニ石ヲ立ルナリ。文選竦峭雙一

○イドス江

線 一スチソ、立ヲ云漢書不絕如綫註今、縷字是ナリワツカースチタチタル糸ノ如シト云夕トヘナリ。チリクトヨレタルヲ云孟子麻^ト絲繁左傳草路藍一

ナリ
ナリ

綸 スチミチノ立テユクナリ。俗ニ云チ、ミノカ、リタル

綏 上ニ見ユ線ト同字ナリ。

約 合セタル糸スジナリ。詩經貝胄朱一ハ組糸ナリ

絛 カ、ムホトニヨリノカ、リタルヲ云儀禮有^レ總純トアルハ履ノムコフノ打合タル所フヨリ合セテヒラカサル様ニシタルヲ云

條 細キクミイトナリ。禮記疏組紳但為^レ是ナリモト細長キ義ヨリ攸ニ以ヒ又網カケヲ以テ上包トスル故ニ韜ト通用ス

○イトクチ

緒 手カヽリノ見ヘタル心持ナリ說文一絲耑也コレ耑ハモノヽキツサキノアラハル、トユエニカクハ注セシトナリ

○イロ

色 ウハ向ニアテハレタル所ヲサシテ云論語一難又一取仁而行違ナト是ナリスヘテ目ニフレルモノヽ通稱ナリ

采 モヤウトリノアルヲ云ナリ孟子為一色之不足分視於目與

○イシウス

碓 打合セテモノヲ碎クナリ正字通碎物之器ト是ナリ

○ト木ニ入モノヲ打碎クヲ推ト云ヒ石ニテ物ヲ打碎クスレト云

磨 上ト下トヲスリ合スナリ同上晋王戎有水磧今俗謂之ト

礎 スリヘラス心持ナリ例用見止

○イカリ

錠 シツカリト取リシツメタル心持ナリ唐書蕃舶有下

碇 稅是ナリ定ハ奠ト通ス定ニ从フハ下ニスワル義

ニトレリ

猫 ハメカケテモタセル心持ナリ猫ハ鼠ヲ捕スレハ手ト爪ヲ立テシツカリトハナサヌ者ナレハイカリメ爪ニ舟ヲ動カササルエヘ鉄ト兜ト云ヘルヲ後世

畧ノ猶ノ一字ヲカクフニナリタルナリ

○イイ

饗

本膳ノフナリ孟子一饗而治注朝曰一夕曰饗

食
スヘテ食物ノタクヒヲカ子テ云論語有酒一先生饌トアルモ飲モノニ對メ云フナリ禮記ノ点ニ一フ

イト訓セシハアヤマリナリ

饑

俗ニ云ケンスイニテイリモノタンコナトヲ云廣韻

一飯也

飧

湯ツケノシナリ例用見上

饋

コハメシノフナリ說文一蒸米也饋飯氣流也ト是サ

ツト蒸名強イ、ナリモト奔ルヨリ責ニムフ

○イリモノ

臚

カ口タタキタルヲ云ナリ楚詞露雞一蟻注菜アルヲ

羹トシ菜ナキヲトスルト云ハ誤ナリタ、カロクタキタルヲ云ナリ

煎

煮ツメタルヲ云方言凡有汁而乾謂之、一古ノ藥法ノ

書ニ始藥種ヲ入テニルヲ煮ト云後ニ滓ヲ去テニツ

メルヲト云

熬

イリコカシニシタルヲ云ナリ禮記煎醢加于陸稻上

沃之以膏曰淳、後世イリモノスルナヘヨ一鍋ト云ニテシルヘシ

犧

毛色ノマシリナキヲ云禮記天子以一牛

特
何ニテモ一種用ユル一同上郊一牲

牲 神供ニソナヘル料ナリ 左傳牛トノ得吉曰一

芻 牛羊ヲ料理スルヲ云 正字通牛羊曰一犬豕曰豢

牷 物體ニ申分シナキヲ云 左傳牲一肥脂

豢 犬豕ヲ料理スルヲ云 周禮法三牲牛羊豕具為一一○イタ

板 ヘツタリトウスキ木ヲ云 詩經在彼一屋鉢版同シ○イタルニ

弋 巳ホヲ矢ニツケテ井ルト也 詩經一言加之コノ字モト象形ニテ弋ハ矢ニ糸ヲワケタルノニテ一點ヲ加ルハ子口フ物ヲサス

繳

向フヲ子口フ心持ナリ 史記續蘭臺系ニ从ヒ敷ニ

縉 从ノ邀ハムカニモトムル義ナリ後世轉用シテ結フ義ニモ用ニ

矰 矢ノ短ニテ補射ルヲ云 同上飛者可以為一○イシ

堵 石ノ行タルホトアルナリ 史記燕地疏一コレ地ニ大石多クアルヲ云ナリ不平ト解ン瘠薄ト解スルハ非ナリ

○イヌ

狗 カヒイヌナリ 爾雅未成毫一

犬 オスヘテイヌノ通稱ナリ 禮記效一者左牽之

厖 ムクイヌナリ 詩經母使一也吠

獒 セ高ク大ナルイヌナリ 書經西旅貢一左傳公嗾夫獒

焉

御 病犬ナリ 左傳一犬入華臣氏之門

○井

豚 小キフタナリ 禮記宗廟之禮一曰腊肥

猪 家ニタクハヘオクナリ 尔雅豕子一

豕 スヘテフタノ通稱ナリ 詩經有—白蹢蒸涉波矣

彘 豕穢シキヲ云ナリ 正字通一豕也

彘 子ヲ求ムルズタナリ 集韻求子豬也

口類

○ハシニ用上

橋 コウバイアルハシニテ中ノ凸ニナリタルヲ云 杜詩

橋

朝進東門營暮上河陽一コレナリ天津橋萬里橋ナトス
ヘテ名タカキ橋ナリ

階 上リ下リヲスルモノヲ云 論語沒一趨進翼如也

梁 両方ヘ渡スヲサシテ云 詩經造舟為梁

阼 主人ノ往來スル階ナリ 論語外降由一階堂ノ前面ニ

兩階アリテ東階ヲ一階ト云蹟祚モトハ一ノ字ナリ

後世祚ノ字ヲ用

圮 土橋ノヲナリ 史記遊下邳一橋遇一老父授以書コレ

土橋ノカリハシニテ攔干ナトモナキ故ニ履ヲオトセシナリ

柱

真ハシラニテ荷ヲモツラ云 阿房賦使負棟之一多于南

畝之農夫荷スモツユエニ柱石外去重キコノ喻ニ用

○ハユ

楹

大黒柱ニテ丸木ナルヲ云左傳丹ノ刺桷ゴレ見ツケ
ノ柱ナリ禮記ノ兩楹トアルモ堂ノ中央ニ當テ柱坊
ニ立ル大ナル柱ナリ

刹

佛塔ノ中ニ立ル柱ヲ云文選列一相望注列一佛塔也
モト柱ヨリ轉ソ寺ノフヲ云ナリ金一香一是ナリ

欂

壁ノ中ノ柱ナリ韓文一櫨侏儒櫨棁ト同義也

棁

俗ニイフツカ柱ナリ論語山節藻注梁上短柱

○ハラ

原

向フ一面ニ高下ナキヲ云書經如火之燎于原トアル
ハ是ナリ高平ヲ原ト云ハ隰ノ下隰ニ對ノ云詞ニテ

郊原ノ義ニ非ス

○ハタテ

圃

野菜藥種ナトヲウユル所ナリ詩經九月築場一コレ
今マテハタケニ用ヒシ所ヲ秋收ノ用ニ立ンカ故ニ
ソノ地ヲ築固メルヲ云

○ハカ

墓

平地ニメ高カラヌヲ云禮記古者一而不墳スヘテ莫
ニ从フ字ハヘツタリトシタル義ナリ幕漠ナトノ例

推スヘシ

○ハレ

睛

ソラノクモリナキ史記天一而見景星雨ニ對メ云
フニテ陰ニ對スル義ニ非スサレ近體ノ詩ハ平仄

ニ拘ルニ立陰ニ對メ用ユルノモアリ

霧 一面ニハレテ日ヨリノヨキヲ云唐詩 一日園林好清

明烟火新是ナリ一威ナト少シモノコリタルノナキナリ

○ハヽ

母 子ヲ産タル女ヲ云ナリ老子有名萬物之母是ナリス

ヘテ形象アルモノナレハ產出スル喻ヲトレリ

妣 死タル母ヲ云ナリ禮記生曰母死曰一サレトモ祖ヨリ以上ハスヘテ先祖ト称シ祖母ヨリ以上ハスヘテ先妣ト称スルナリ

娘 婦人肥大ニナリタルナリ娘ト同シ杜詩不聞耶一妻子走相送塵埃不見咸陽橋

媽 老母ヲ云ナリ字典一俗讀若馬平聲称母曰一多ク俗語ニ用ル字面ニシテ正文ニハ用ヒス

姆 女ノ師匠トナル老女ナリ小學一教婉婉聽從五十以上ニシテ嫁セサルモノ姆トナルナリ

嫗 子ヲ育セルヲ云ナリ漢書嚴延年兄弟五人皆大官母曰万石一モト子ヲ懷ニ入レテ溫ルノヨリツ井ニ轉メ肌ニテ人ヲ温ルノニ用

○ハヽ

婆 年ヨリタル女ヲ云說文老母稱方俗稱舅姑曰公一婆ハ翁ノ對ナリ姑ヲ婆ト称ス此方ニテ姑ヲ母ト云ト同シ

姥 姆ト同字ナリ祖母ノノニハ非ス老女ノノ也晉書會

有孤十養ニ鵠六朝以後ノ文字ニ老女二字合セタルナリ
腰ノカヽマリタル女ナリ 正字通俗称老婦曰一

嫗 慈愛ノ深キ老女ヲ云國策一之愛燕居賢於長安君

○ハケモノ

妖 ヨノツ子トカハリタルモノナリ 左傳人棄常則一興
是ナリ入一詩一鼓一艸一ナト皆非常ノ物ナリ

魅鬼

人ヲハカシマヨハスモノヲ云周禮以夏至日致地示

物一註百物之神曰一

孽

正シカラサルモノノ云史記妖一數見

魔

モノヘ碍リニナルモノヲ云白詩惟有詩一降未得每

逢風月一闋吟トアルモノ詩作ハカリカ心ノ碍トナル

云

化

變化化生人モノナリ周禮能生非類曰一

怪

合點ノ方又モノヲ云

論語子不語一力亂神

○ハタヘ

肌

俗ニ云キメノトナリ

酒德頌不覺寒暑之切肌キメニ

入ルトヘ肌ニ粟ヲ生スナトハキメアラクサラクト

シタルトナリ

膚

ウハカハラサシテ云ナリ

詩經一如凝脂トイヘルモ

上皮ノ所ニツヤラ帶タルヲ喻タリ故淺ハカナルト
ヲ膚淺ト云語アリ

腠

スチアヒノワカル處ヲ云ナリ

史記君有疾在一理コ

レ毛孔ヨリ連リタルアミノ如キスシナリ腠理ト云

ハ木目ノ如キヲ云

臚

下ヨリ上エフクレタル處ヲサスナリ抱朴子能解ハラフ

以理脳

○ハラ

腹 内ニモノヲ多ク蓄ヘタルナリ禮記孟冬之月水澤一

堅ト云ヘルタクヒスヘテソノ内ヲサシテ云「ニ用

ル字面ナリ

肚

脣サキヲ云ナリ廣韻腹一正字通俗呼曰一

○ハキ

脛 脇ノ骨アル處ヨリ下ヲサシテ云史記一犬於股不折

必披

廉

膝ヨリ向フス子ナリ字典一脛十也

腿

モ、ノ後ノ方ヲ云ナリ正字通一、股後肉也俗謂股大

一腓小ト

骭

脛ノ中ノ骨ヲ云ナリ史記生不遭堯與舜禪短布單衣

適至一

骭

足ニ近ク細リタル所ナリ正文通一近足者

○ハタカ

裸

衣服ヲ着用セヌヲ云孟子雖袒裼裸裎於我側トコレ

裸ハ程ヨリ甚シ人ト一蟲ト云モ身ニ羽毛ナトノナ

キヲ去

程

身體ヲマルニ見セタルナリ見上呈ハ獻呈ノ義ニヘ

ノコル所ナキトナリ獻體ト左傳ニアルモコノ義ナ

リ

○ハタスク

祖 ハタエノ内ヲアラハスヲ云見上祖ハ元來モロ肌ヲ見セルヲニ非ス左一右一ノ語アリ且ニ从フテ日ノ出ル喻ニトレリ

褐 ウエノ衣服ヲヌキカケルナリ見上褐ハ襲ニ對スル字ナリ禮記ニ見ユ祖ハ褐ヨリ甚シ裸ト程トノ如シハカマ

袴 裙ノ兩方ヘ分ル、ヲ云釋名一、膀兩股各跨別也
ヒタアルハカマヲ云ナリ儀禮襚者以一習ハ重ナリヒタヲトレハタ、ミカサナル義アレハ習ニ从フ合セノハカマナリ玉篇一、襲袴也

袴 野ハカマノトナリ蒙求相如身自著、犢鼻一
スツツキラサシテ云唐詩今日施僧一帶、上トアルモ

旌 鳥羽ヲ竿首ニ施シタル目印ノハタナリ禮記武車綏一、德車結一

旗 熊虎ヲ画キタルハタナリ文選張鳳蓋建華ト説文釋名ナトノ説ニ斯ヲ以テ釋ス熊虎ハ威アル獸ソノ會期ヲタカヘサルニトレリ

旆 ハタニツキタル尖ヲ兩股ニシタル吹キリナリ詩經悠々一旌トアルモ旌ニ舟タル吹チリ一ト云モ吹チリハ靡ヤスケレハナリ

幟 目シルシナリ史記拔趙一樹漢赤一織ト通用スルト詩經ニ見ヘタリ織文鳥章是ナリ

旄

龜蛇ヲ画キタルハタナリ尔雅緇廣充幅長尋曰一コレ色ノ黒キハ北方ニ象ル旄ノ四ツハ金ノ數ハ水ニ相生ノ行ヲトレルナリ

幢

頭ニ羽毛ヲ施シタルハタホコナリ翻ト通用ス方言楚曰翻ト關西關東皆曰一陳モ楚ニ近ケレハ翻ト云ト

見ニ

葆

羽ニテシタルサシカケ傘ナリ禮記匠人執羽一御枢ソノ形大クシテ物ヲ覆ニタル故ニ一ノ字ヲ大ナルニモツヽミカクスニモカリ用ユ

旂

旗ノナヒキナリ周禮天子玉路大常十二一至地

勿

殷々筋ノ三游タルニ白絹ノヘリ取タルヲ云周禮九旗雜帛為一俗ニ云吹拔ナルヘシ

旛

鳥隼ヲ画キタルハタヲ云詩經彼旛旛胡不旆々是ナリ與ニ从フハ人人ノ與ニシテシタルカフ心ナリ祝名ニ譽ヲ以解レタル非ナリ

旒

冕ニ付タル瓔珞ノ如キモノヲ云同上為下國綴一ト云モ旗ノ繻ヘ旒ニトリツキタルモノヨリ冕一一ニモ假リ用ヒシナリ

翫

毒縣同大ナルハタホコナリ詩經左執一右招我由教

繻

重ノハタマテナヒキトリ付モノヲ云周禮注正幅為

旛

ヒラクトシテ遠方マテ見セル心持ナリ漢書諸生舉一大學下

旛

大將ノ手ニ取テ軍配スルヲ云左傳一動而鼓

翫

唐團ニテサシカケルモノヲ云禮記周人牆置

罕

行列ノカサリニ用ユル大ハタナリ正字通雲一犬旗

也

旛

タ、一幅ノ無紋ノハタナリ周禮通帛為ト又孤卿建

赤レユレ文章ナキ故ニ賤モノヲタツ宣ハ丹ト通ス色

赤レ爾雅ノ注白練ヲ以テ旛トスルハ誤ナルヘシ

酒屋ノカシハンナリ字典青一酒家望子

旛

模様ナクシテ柄ノ曲リタルヲ云說文一所以一表士

衆

旛文龍ヲ画キ鈴ヲ付タルハタナリ詩經君子至止言觀

其旗トハ各別ナリ正字通ニ說文ノ分テニトスル

ハ非ナリト云ハ反テ誤ナリ

○ハコ

篋

ヒツ大リニシテ細長キハコナリ禮記入學鼓^{タフ}孫^フ其

業也戰國策ニ出シ文ニ據テ旅持ナトニスルモノト

見エ

箱

スヘテ納モノヲ云字典車内容物處曰ト又一竹器詩

經ニタルマヤニ用ヒタルモ大小ニ限ラススヘテ物

ヲ入ルヲ云

筥

圓キ器ナリ詩經維篋及一字書ニハ盛米器ト注シ周

禮儀禮ナトニモ米ヲ入ルモノト見エ俗ニ云イカキ

ノ類ナリ

筥手モトニツカフハコナリ禮記苞苴^ト書經惟衣裳

在ト

譜文須知實卷

函 入ユニシタルヲ云俗ニ云藥籠蓋ナリ世說劉穆之善

尺牘自且至日中得百一コレ文箱ヲ云ナリ

奩 諸道具ヲ一處ニ入ルナリ正字通今俗以物送女嫁曰妝

一コレ北方ノ長持簾笥ヲ嫁入道具ト云同シ

匱 モノヲ入テ出レニクキヨフニシタルナリ書經包一

菁茅後世ニハ訴訟ヲウケル役所ヲ一使院ト云六典

ニ見ユ則天ヨリ始レリ

簋 竹皮籠ナリ漢書遺子黃金滿一不如一經

行 手本ニツカフ何トナク物ヲ入ナリ莊子感之以篋一

セイ高キ竹皮籠ナリ說文一竹高也

匣 外ニカフセバタアル具合ヨキ箱ヲ云杜詩平生白羽

扇零落蛟龍一

盒 上下ノ合タルモノヲ云字典一盤覆也

櫝 サヤニシタル外箱ナリ禮記戈有刃者一

匱 人ニ見セヌヨフニシタルヲ云莊子將為胠篋探囊發

一之盜而為守

筭 潛筭ニスルモノニテ今俗ニ高野聖ト云モノ史記負

一從師アル是ナリヒシリハ避秦ノ轉語ト云說アリ

未詳

筐 真四角ナルハコナリ詩經不盈傾一ト是圓キモノハ

傾ケテモ隅ノ處へ行ナシ方ナルユエニ傾レハ隅

ノ處へ盈ルナリ

篚 カフセフタナトアリテ上ヨリ見ヘサルヨフニシタ

ルヲ云書經厥一織文孟子一厥玄黃ナト端物ヲ入ル

器ナリ

錠マヘナトノ付タルシメ切リノハコナリ

漢書星辰

械

錠マヘナトノ付タルシメ切リノハコナリ

漢書星辰

過太白間可レ劔ヲ

○ハカリ

權

ツリ合ノヨキヨフニスルヲ云

漢書五ー之制以義立

之五ーハ銖両斤鈞石ナリイツレモツリ合ヨクス

ル器ト云ナリ

衡

ハカリサホヲ云

書經同律度量一衡ハモト古ノ横ノ

字魚ノ行一横ナルニトレリハカリノサホモ横一文

字ナル故ニ用ユ

銓

ハカリノ重リナリ

淮南子縣之于一衡

錘

ヲモリノ下リタルヲ云

博雅權謂之其形一也

秤

ツリ合ノヨキヲ云ナリ

正字通我心如一不能為人

低昂

○ハハキ

稱

秤ト同シ義ナリ

同上

權衡正斤両者

筭

塵ヲハキトルモノヲ云

禮記為長者糞之禮加一於筭

上ナトコレハタ、常平生ノ筭ニテ掃除スルヲ云

筭

地ヲ清メル心持ナリ

史記高祖朝太公擁一ト是今ノ

馳走ニ手桶筭ヲ設ケクト同シ意ナリ

筭

先ノヨク利クヲ云タトヘハ茶一狼一ナトヲ以テ考

シルヘシ

虧

邪氣ヲ拂マシナイニ用ルヲ云

禮記膳一君有葷桃

○ハナ

花 ○ ハタ、一通リ艸木ノ花ナリ 説文 一、本作華榮也モト華ノ代リニ用ヒシナレモ後世ニハ各別ナリ

華 モノ、花ヤカニハヘアルナリ 韓文 含英咀コレ文詞ノ精妙ナルヲ花ノハヘアルニタトヘタルナリ

蕪 花ノチクヲ云 詩疏 花下有——下有桺花——相承覆古ヘハ鄂ト通ス鄂丕ト云ヘルハ蕪ト桺ノトナリ不ハ

桺ト音近

蕪 花ノ中ノシヘナリ 正字通 花外曰華花内曰——華ハアラハレタルノニテ蕪ハ内ニコモリタルノナリ

葩 花ヒラツクヲ云 坡詩 溫風散晴 韓詩 玉枝攢霜 ——イツレモ花ヒラノ一ツツ、分レ或ハ一ツツ、アツマリタルナリ

英 花ノニホイナリ 詩經 有女同車，顏如舜。一央ニ从フハ

中央ノ義ニテ花ノ真中ニメスクレタルユヘ人ノ秀出ニカク用ユ

蕪 花ノサカリカケナリ 文選 天地絶縕百井含一 禮記 木槿一 陶詞 木欣欣以向——

榮 花ノサキ出ルナリ 禮記 木槿一 陶詞 木欣欣以向——ハ花輪ノトニ非ス木ノ精華ヲ云故ニ枯ニ反對シテ云ナリ

朶 花ノタイナリ 説文 一、鄂足也。草木房為一、コレ木ニ花ノ付タル本ヲサシテ云故ニ从七付ニ从フ字書ニ萼ト混スルハ非ナリ

瓣 花ヒラノ一ヒラヲ云 正字通 一、卽瓜犀又片也

○ハリ

針 通シテシメタルヲ云世說注磁石引ト琥珀拾芥
刺 サキノイラツクヲ云正字通棘芒曰芒

○ハサミ

鉸 ハサミノ姿ヲ云字典一即今婦功縫人所用者
剪 ハサミノハタラキヲ云說文一齊斷也

二類

○ニシ

虹 ハシヨリハシマテワタシタルヲ云禮記一始見又一
藏 不見橋ノタトヘニ虹ノ字ヲ用ユルモ一文字ニワ
タシアル心ナリ

霓 色ノハキリトセサルヲ云文選龍輶充廷雲旗拂
零 其義未考爾雅端竦謂之

蝶 蝶ノ音ノ轉セシナリ正字通同蝶詩石經改作一
蛺 陽氣ノ應スルヲ云見上

蟻 霓ノ音ノ轉セシナリ史記其一者類闕旗

隣 水氣ノ下ヨリノホルヲ云詩經朝一西崇朝其雨

○ニハ

庭 地面ヲ平ニシタル場所ナリ論語八佾舞於一トアル
表ノ書院サキノ一ナリ公然トノハ佾ヲ用ヒシヲ云
場 何ニテモ用立チツカフ所ヲ云詩經九月築于一圃ト
ハヤカテ禾稼ノコナシ場ニセンタメ畠ニツカヒレ
所ヲツキ固ルナリ

墀 カツラ石ヨリ階マテノ間ヲ云杜詩陽春度玉一文選

ニ金一ナトアルハツノ堅ヲ云字書ニタ、丹ヲ以テ
ヌルト云ハ非ナリ

壇

一段高クシタル所ナリ禮記去祧為一去一為壇
除掃除ヲシタル所ナリ文選循階一而下降

壇

砂ヲマキ清メタル所ナリ書經為三壇同一

○ニハタツミ

潦水上ナク流ル、水ヲ云孟子河海之於行一也トアル
汙八道ハタヲ流ル、根ナシ水ナリタマリ水ニハ非ス
汙クホタマリタル所ニ水アルヲ云左傳潢一行政之水
潢汙ハ原來隆ノ反對ナリ地形ノ卑キ所ニタマル水ナリ
潢水ヲタメヲクノナリ見上裝潢ハ俗ニ云表具ノ一
一ハ天河ノトイツレモ水ヲタメオクヨリ譬タルナリ

○ニコリサケ

醪シタマサル酒ヲ云古文後集銜杯漱

醴禮儀ニ用ニ麴ノゾキ酒ナリ禮記始飲酒者先飲一酒

醯色ノヨキ濁酒ナリ說文一濁酒

酏酏ヨリハ少シク濃キ酒ナリ禮記恭一

酏梅漿ヲ用ニ酸味ヲ帶タルヲ云莊子生者酏一物也

醫醯ノ音ノ轉セシナリ周禮辨四飲之物二曰一

醑醸ヨリ少シク清タル酒ナリ禮記醴一在戶

醑中クミサケ杜詩家貧止舊一

○ニエ

贊禮儀ニテ人ニオクルヲ云左傳男一大者玉帛小者禽

費

鳥

○ニキテ

幣

シルシニヲクルシナナリ孟子恭敬一之未將者

小類

○ホリ

渠

運送ヲ通スルヲナリ史記西門豹為鄴令開十二一灌

田今ノ俗ニ堀ヲ用ル所多此字ナリ高瀬川ナトハヤ

ハリーナリ

隍

カラホリナリ易經城復于一カラホリノトユヘ字書

ニ無水曰一尔雅ニ虛也凡注スルヲ以テシルヘシ

堀

シタヤナリ左傳吳公子光伏甲于一室而享

塹

要害ニナルホリヲ云史記深一而守

壕

シロ人ホリヲ云杜詩雁鳴寒雨下空一城下池ナリ

○ホラ

洞

中ノ空虚ナルヲ云ナリ正字通一山巖有孔穴者

岫

クノ部ニ見ニ陶辭雲無心而出一

廈

キリ岸ニアル洞穴ナリ集韻山崖空穴間貌

○ホカ

外

シキリヲ立タルソトノ方ヲ云易經男正位于一

表

ウハハキノ見コミノ處ナリ書經光被四一

帳

ホウタチ柱ニトリツケタル木ナリ方言一隨也注一

柱令相隨也

○ホト

程

モノ、ツモリヲレ定メタルナリ三體詩行盡江南

數十ニナト驛路ノ立場ノ敷ヲ定メタルナリ

○木シ

星 キラクト一黙ツ、分レタルヲ云
宿 井スハリタルヲ云ナリ 宋詩爭險挂星一

辰 ソレクノ場所へ動クヲ云 周禮馮相氏掌十二ノ

邊 トリマハシタル端ナリ 韻府有人得道猶如食蜜中一

小トリ

口 入口ノ所ヲ云 唐詩三洲斷江口

渭 水ト艸トノ打アイナリ 詩經所謂伊人在水之濱

畔 フキエハツレタル方ナリ 說文一田界也

潯 水ニツキタル所ナリ 杜詩松筠起碧一

許 水ニチカキ所ヲ云 詩經率西水一

瀕 フキアタリテ向ノナキヲ云 詩經池之竭矣不曰自ト

瀕ト濱ト通ス孟子ニ伯夷避紂居北海之濱云是ナリ

○木子

骨 人物精氣カタマリタルナリ 詞記凡為俎以骨為主

鯁 咽ニ立タル骨ナリ 正字通一骨不下咽

骸 總身ノ木子ヲ云 莊子直寓六亥十二辰ノ畢ナリ 凡亥ニ从フ字皆ニキスフル意アリ

骼 外工露レタル骨ナリ 禮記掩骨一

骭 足ト膝トノ交リ細キ所ノ骨ナリ 說文一脰也

骭 膝ノ骨ナリ俗ニクルフシト云 同上一兩股之間

骯 骨ノ上肌ヲ云 列子一骨不磷

髓 ス人部土出

𦵹 體ノ音ノ轉セシ 正字通 一俗體字

○ホノホ

炎 火ノ上ヘモニアカルナリ 書經火曰一上火ノ上ヘ火ノ字ヲフヘタル會意ナリ

燭 火氣ノモヘツクホトノ勢アルヲ云玉篇一火燭也

焰 上ト同字ナリ 說文一火行微談談也

熾 キラクトキエヤスキ心持ナリ 文選一炎炎揚光飛文

熒 チラクトキエヤスキ心持ナリ 詩經一燿宵行

輝 外ヘカヽヤキウツルヲ云同上 庭燎有火自一

燼 モヘノコリタルナリ 例用モノ部ニ出

燼

煥 タンクト光ノアルヲ云文選彫琢有章灼爛明

煌 火氣ノハウトシタルヲ云詩經明星

熛 高ノアカリテ見ユルナリ 說文一火飛也

○ホコ

殳 一丈二尺アル又ナキホコナリ 詩經伯兮執殳為王前

駟 ト是前ハラヘノモツ物ヲ毆ツ捧千切木ノ類ナリ

稍 一丈八尺アル又アルホコナリ 正字通一馬上所持

槍 前ノ格別ニ尖タルナリ 廣韻一稍也

戟 十文字ノ枝アルホコノ云周禮注一今三鋒戟也ト是

ナリ左傳ニ一手ト云トアリ左右ノ手ヲ上エアケ下

ヘサケテ怒ル狀ヲ云

槊 稍ト同字ナリ

鉞 矛ト同キヲナリ 其義未考書經 一人執一

矛 長サニ丈ニメ鉤アルホコナリ 詩經二一重喬

鋒 小ク短キホニヲ云 漢書注一 鐵把短矛也

鉢 予ノ古字ナリ

鎧 小キホコナリ 方言矛或謂之一ト

鉞 大ナルマサカリナリ 禮記一鉤子戟也如戟而橫安刀但頭

矛 不向上為鉤也

棨 上矛以口字シタル戟 漢書王左校黃一斧ヨリ又大ナ

漢書有衣之戟曰一 滕玉閣序ニ棨戟トアハ行列ニ

盃 モタセル儀式ノモノナリ

剗 其制未詳ヤハリマサカリノ類ナリ 詩經一人執一

戚 マサカリノトナリ 左傳君王命剗圭為一秘

戟 マサカリノトナリ 今揚ニ作ル 詩經于戈戚揚

兜 三隅ノホコナリ 詩經一矛鎔鎔

鋒 ホコ尖タルナリ 漢書身自將之為楚軍前一

櫛 小キホコナリ 元史一 制如戟鋒刃而旁微起下有鎔銳

鏟 ホコノ刃ノ物ニアタルヲ云 唐詩慷慨丈夫志可以耀

鋒 一

○ホトキ

金 腹大クロスコレクシマリタル器ニテ今ノ壙ノ如キ

モノナリ 易經有孚惠心

盆 二輔ノ入目アルヲ云史記請奉一甌以相娛樂

甌 小キ口ノ器ナリ淮南子抱一而汲

甕 カタシシマリタル器ナリ文選傾縹一以酌醞醕

鑊 水ヲ盛ル大ナル器ナリ左傳備水器注盆一之属

盎 燒物ニゾ酒ヲ入ル器ナリ尔雅一謂之金

罍 雷ノ紋ヲナリハソタル大ナル器ナリ詩經酌彼金一

釀 クヒノ長キ大ナル器ナリ杜詩茗椀蔗漿携所有瓷甕

無謝玉為一

盃 小キ器ナリ吳志先以銀一自飲唐詩當時金一

孟 酒食ナト入ル大ナル器ナリ韓非子君猶一也民猶水

也

盃 食ヲモル小キ器ナリ字典一孟屬今之所謂一孟也同

○鉢

○ホシイ井

糒 用意ニタクハフヲ云史記載一給貳師

餸 カノ部ニ出

糗 熬コカレタルヲ云書經峙乃一糧疏一擣熬穀也今ノ

俗ニ云ハツタイナトノ類ナリ

○ホシレ

臍 骨ナク大ク切リテ乾シタルヲ云禮記祭一注一大臍也

臍 小キ物ヲマル乾ニシタルヲ云易經噬一肉

臍 平カニキリテ乾タル肉ナリ公羊與四一脯

臍 薄ク切リテ乾シタル肉ナリ詩經爾毅伊一

腋

用意ニタクハヘオク品云說文一、脯也注世通謂儲畜食味為一。

脩

久シクカ、リテ干タルヲ云論語自行束一以上吾未嘗無誨焉。

腒

鳥ノ全乾ニシタルヲ儀禮夏用一

脯

魚肉ノ全乾シタルヲ云禮記夏宜解一

○ホソヌノ

絨

モヲ以織リタル如クホソキ綿ナリ玉篇一、細布也

締

細キ糸ヲ以テ織タル葛布ナリ詩經為一為綏

總

生糸ニテ疏ク織タル細布ナリスバシノ属ヲ云釋名

○ホ齊人謂涼為康言服之輕細涼惠也

縷

チ、ミノカ、リタル細布ナリ詩經蒙彼一縷

○ホタツニ一縷

羈

自由ナラヌ様ニスルナリ莊子至德之世禽獸可繫一

而游

靽

足ニヒキカ、ル様ニスルナリシリカイナリ左傳鞚

鞬鞅一

鞬

シリカイヲ云莊子連之以羈ト

繫

馬ト同字ナリ詩經之維之以永今朝

鞬

ムナカヒ又ハルヒノノナリ禮記執羈一而從也

○ホ

帆

風ヲモタセテウカヘルヲ云世說行人安穩布一無恙

○ホハシラ

挽

高ク舉タルナリ正字通俗謂舟上帆竿曰一

檣

シツカリト心柱ニメタテオクモノヲ云韵府一挂帆

木

○ホコノヘ

柂

ホコヲタスケルモノ大リ左傳君王命剝圭以爲鍼一

○ホソ

簾

筍ヲ承ルホワナリ同上直曰一

筍

サキノ尖リタルホワナリ周禮注樂器所縣橫曰一

譯文須知卷之一 終

